

第76回放射線技師国家試験における
採点除外等の取扱いをした問題について

午後 第 6 問

- 6 骨密度測定装置で正しいのはどれか。
1. SXA 法では ^{153}Gd の特性 X 線を用いる。
 2. QUS 法では超音波の反射波を利用する。
 3. QCT 法では単色化された X 線を用いる。
 4. DXA 法の骨密度の単位は $\text{g}\cdot\text{cm}^{-3}$ である。
 5. DIP 法ではアルミニウム厚の換算値を測定する。

(採点上の取り扱い)

複数の選択肢を正解として採点する。

(理 由)

複数の正解があるため。